

# コミュニティ・スクールを核とした地域の魅力化と活性化の取組

## 宇治学園地域連携研究会

### 活動の目的

宇治小学校、宇治高等学校のある宇治地区は、昭和30年代には人口が2,000人を超えていたが、現在は600人を下回り、過疎・高齢化が急速に進んでいる。その地域において、「宇治学園」を中心としたコミュニティの再構築や、地域の魅力化や活性化を目指す。

同時に、学習面において小学校と高校が連携しつつ、地域に開かれ、地域とともに学ぶ体制を構築し、Society5.0時代で活躍できる子供と地域づくりを目指す。

将来的には、宇治小学校や宇治高校へ、日常的に地域の方々が集えるコミュニティの場の設置を検討し、地域行事や学習講座など、子供たちと地域の方々の交流と学びの場としての在り方を模索していく。

### 活動の内容及び経過

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、年度当初、学校は臨時休校措置となり、地域の行事等は軒並み中止となってしまった。しかしながら、粛々と連絡調整や、打ち合わせを行い、地域の魅力化や活性化に向けた方策を検討した。

10月、学校と地域が連携した活性化事業の先進地である島根県海士町の担当者へ研修会の講師をお願いし、これまでの取り組み事例、方策等について講演頂いた。

11月、宇治高校で授業研究の研究発表会を開催し、県内から教育委員会、高等学校をはじめとする教育関係者が集まり、成果の発表をするとともに情報交換を行うことができた。

この間、小学生と高校生の様々な連携や交流は続き、芋植え、花植えなど、新聞やテレビニュース等で度々取り上げて頂いた。

### 活動の成果・効果

10月の研修会に参加した地域の方々から「講演を聴いて元気が出た」、「宇治の将来を考えるよききっかけとなった」、「みんなで頑張ろうという気持ちになった」など、研修会の後、会場内外でポジティブな言葉を多く聞くことができた。

当初の予定や計画の多くが、新型コロナウイルス感染症への対応のため中止や延期となってしまったが、地域や学校にとって、連携協力や、魅力化・活性化推進を考える大変良い契機となった。

研修会から1ヶ月後の地域意見交換会などでは、地域の方々から地域活性化に向けた前向きな意見が多く聞かれるなど、地域の方々の前向きな意識変化を見て取ることができた。

また、地域との連携・協力とともに、授業研究の一環で「ピア・サポート」「レジリエンス」について取り組んできたが、宇治高校3年生徒が全国生徒生活体験発表大会で文部科学大



学校運営協議会での意見交換の様子



宇治学園会研修

岡山県教育長を表敬訪問



地域との意見交換会

臣賞を受賞するなど、地域交流と授業研究における成果を見ることができた。

### 今後の課題と問題点

本年度計画していた多くの取組が、新型コロナウイルス感染症のため中止や延期を余儀なくされた。しかし一方では研修会等を通して、地域住民の方々と、「宇治学園」の教員や子どもたちにもポジティブな意識の変容が見られた。

今後、新型コロナウイルス感染症が収束し、運動会や文化祭、その他交流会など、計画通りに実施が可能となった時のことを鑑み、活動計画等をブラッシュアップして準備しておくことが必要であると考えられる。

また、宇治小学校と宇治高校の学習面での連携を十分に行うことができず、今後に向けてカリキュラムの連携や、連携後を見据えた様々な見直しを図っていくことが必要かもしれない。

引き続き、地域の方々と学校双方の意見を集約し、行事や研修会など、より充実した連携・協働となるよう研究する必要がある。

- 代表者：小寺邦彦 ●所在地：高梁市宇治町宇治
- TEL：0866-29-2004
- E-MAIL：ujiko@sc.city.takahashi.okayama.jp
- URL：http://www.sc.city.takahashi.okayama.jp/ujiko/
- 設立年：2020年 ●メンバー数：29名